

サプリメントに頼らない生活

薬剤師 藤竿伊知郎 (外苑企画商事)



週刊朝日3月7日号で「ウコン神話に注意」という記事が載りました。肝臓に良いと評判のウコンによって、肝障害を起こし死亡したことを紹介しています。

また2004年10月、東京通信病院は、肝硬変の女性患者が粉末のウコンを毎日スプーン1杯のみ始めたところ約2週間後に症状が悪化して入

30代の男性が二日酔い防止にウコンを多量摂取し、肝機能が低下、劇症化して死亡。38歳の男性が飲酒による肝機能低下



ウコンは肝臓保護作用を持つハーブで

ウコンが肝臓を傷つけるメカニズムとして、ひとつは、ウコンの作用そのものが刺激によって肝臓機能を高めることに由来します。健康人では問題なくとも、肝硬変が進んでいる慢性肝障害の患者さんには作用がきつすぎるのです。

そのため、食事から鉄の摂取を1日6mg以下とする低鉄療法がおこなわれます。ウコン粉末1日分は、2mgの鉄を含んでいます。通常7・5mg摂取している鉄を2割削らないといけな

「送り先」5面下「くらしと健康」に応募する住所と同じ。ご質問、ご感想をお待ちしています。なお、お寄せいただいたご質問などを記事で紹介させていただきます。ただ、場合がありま

この4月1日から、厚生労働省が定める薬局の調剤に関する料金と薬の価格が改定されました。地域の薬局として、在宅医療の推進と24時間の開局または電話待機の対応、医療費抑制のため後発(ジェネリック)医薬品の使用推進などが求められ、さらに、お薬手帳も見直されました。

是非、多くの方々にお薬手帳を携帯し活用していただきたいと思います。薬局では、医療安全向上、医薬品の適正使用推進や



渋谷区・石井和子



歯科医師 妹尾ゆかり (代々木歯科)

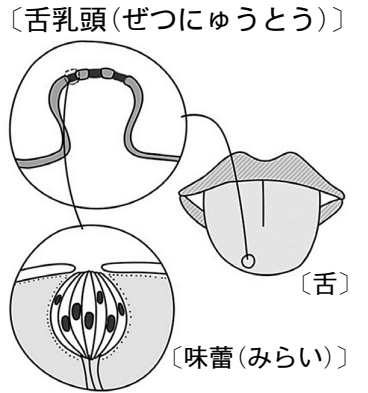
味はどっしてわかるのか

味を感じるの舌と上顎の奥です。ここに凶のように味を感じる味蕾(みらい)というものがあります。それから出てくる神経から脳に伝わります。

味覚障害

原因の多くは亜鉛と唾液の不足

—その16—



味覚障害とは

味覚障害とは、おもに食べ物の味がわからなくなる病気です。味をしっ

原因の多くは亜鉛不足と唾液の不足です。それには食べ物よりもより服用中の薬、例えば糖尿病や関節リウマチ、パーキンソン病、高血圧の薬が

また、ウコンに多く含まれる鉄の毒性も問題となります。慢性肝炎では、肝臓に貯溜する鉄が

心配な方はかかりつけの先生か歯科にご相談ください。代々木病院には現在耳鼻科がありませんが紹介してもらえます。

しかし、薬剤師が反省すべきところですが、お薬手帳の必要性や活用方法の説明が不十分で、説明がなくお薬手帳やシールを渡された等の指摘がありました。

個人の治療費を減らし、高騰続ける国全体の医療費を抑えて、今の医療保険と公費医療の制度を改善させないで存続させていきたいものです。

薬局でも、薬を整理し、医師に処方提案するなど、患者さんの服薬のお手伝いをしていきたいと思えます。

治療法について

耳鼻咽喉科で生活について問診され、血液・尿検査と味の検査を最初に受けます。そして原因を突き止めて治療をします。

生活の中で気をつけること

亜鉛不足にならないように加工食品やファストフード、インスタント食品を控えること、辛いものを食べ過ぎないこと、タバコを減らすこと、肉や魚、野菜をバランスよく摂ること、日光を浴びること、軽い運動をすること。

くすりの話あれこれ 94

薬局の調剤に関する料金などの改定～ 患者の皆さんにご理解を！ 西村 清志 (薬剤師・たくみ外苑薬局)



医療費の軽減のため、アレルギーや副作用歴、他院受診、併用薬、服薬中の体調の変化、服薬や残薬の状況、後発医薬品使用の意向などを患者さんにおうかがいします。今回改定で、この確認時期が、効率よく薬を調製するため、処方せん受付後、薬を調製前に義務化されました。

〇〇〇